化学消防ポンプ自動車Ⅱ型　仕様書

第１　総　則

１　目的

この仕様書は、裾野市消防本部（以下「本部」という）が平成２７年度に購入する化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（以下「車両」という）について、次に掲げるところによるものとする。

（１） 緊急出動、消火作業等消防活動に適した構造および機能を有しているもので、道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号)、道路運送車両の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）及び関係法令等の規格に適合し、緊急自動車として承認が得られると共に、機動性、安全性を高めて走行安定性を保持する構造であること。

（２） 車両は、低公害車で最新の排ガス規制適合車とすること。

（３） 車体は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。

（４） 動力消防ポンプは、規格省令に適合するものであること。

（５） 各装置は、耐久性及び耐食性に優れたものであること。

（６） 各装置の点検整備が容易に行なうことができる構造であること。

（７） 中型免許で運転が可能であること。

２　契約後の提出書類

（１）次に掲げる図書を１か月以内に３部提出し、本部の承認を受けた後に製作を行うこと。

ア　製作工程表

イ　艤装図

ウ　ポンプ関係図（真空ポンプ関係図を含む。）

エ　ポンプ及び配管のシャシ取付け要領図

オ　シャシ三面図

カ　シャシ諸元明細書

キ　使用材料明細書

ク　その他本部が指示するもの

（２）進捗状況の報告をすること。
　　平成２７年１２月２８日現在の進捗状況を示す書類を提出すること。

（３）緊急自動車届出に伴う、次に掲げる図書を本部に、完成車納入３０日前までにＡ４フォルダーに取りまとめ３部提出すること。
ア　改造自動車等審査結果通知書（写し）
イ　完成車両写真
　（デジタルカメラで、ドア文字が記入された車両前後左右及び車室内前後部を撮影したもの）
ウ　緊急自動車届出に伴う図面
エ　譲渡証明書（写し）
オ　契約書（写し）

（４）車両納入時において、次に掲げる図書を本部にＡ４フォルダーに製本して取りまとめ３部提出すること。ただしＡ４以外のサイズで製本されている図書については、この限りではない。
ア　シャシ関係
①　自動車検査証の写し
②　動力取出装置関係図
③　標準取付品及び付属品一覧表
④　取扱説明書（車両・着装）
⑤　その他本部が指示するもの

イ　艤装関係
　艤装完成図
①　ポンプ性能試験成績表

② ポンプ取扱説明書
③ 配水管系統図
④ 電気配線系統図
⑤ 改造自動車等審査結果通知書（写し）
⑥ 自主表示対象機械器具等表示（写し）
⑦ 装備品・取付・付属品一覧表（品名・数量・会社名を明記）
⑧ 取付品及び積載品の取扱説明書
⑨ 保障書
⑩ その他本部が指示するもの

3　疑義の解釈

製作にあたり、本仕様書に変更の必要が生じたときは、直ちに本部と協議し、その指示を受けた後、速やかに確認図書を提出すること。

4　検　査

（1）検査の種類は、次のとおりとする。

ア　製造検査　艤装材料の品質及び性能を検査するもので、特に必要のあるときは現品について行う。

イ　中間検査　艤装の施行過程において受注者からの要請があったとき、または監督員及び検査員が必要と認めたときに行う。

ウ　完成検査　車両の艤装が完成し、納車時の検査をいう。検査員及び受注者が立会いのもと実施し、仕様書、設計図書及び中間検査時の指摘事項に基づき機関、各種装置及び保安部品等の作動確認をすべて実施する。

（2）検査の方法等

ア　検査はあらかじめ受検申請しなければならない。

イ　検査は、監督員の指示に従って受けること。

ウ　監督員及び検査員は、検査のため必要があると認めるときは、その部分を取り壊し、分解し、又は製作に関する説

明を求めることができる。

エ　検査終了後、すみやかに検査結果成績書３部を提出する。

5　新規登録事務等

車両納入前に、緊急自動車届出事務及び車両の登録事務（車両番号 6 とする）に伴うすべての事務手続きを行い、検査に合格した後、新規登録された車両を納入すること。

6　事故防止

車両の移動は、事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合には、すみやかに本部に連絡するとともに、その損害については受注者が一切の責任を負うこと。

7　登録及び保険料等

（１）完成車の新規登録及び検査に係る一切の費用は受注者が負担すること。

（２）自動車損害賠責保険及び自動車重量税及び自動車リサイクル料は本部が負担する。

（３）上記以外その他一切の費用は、受注者が負担すること。

8　保証期間

（１）車両の保証期間は、納入検収日から１年間以上とする。

（２）車両関係及びポンプ関係等のサービス点検は、保証期間中に１回以上（エンジン、ミッション、ディファレンシャルギアオイル及びエレメントの交換を含む）実施すること。

（３）保証期間後、製作上の不備に起因すると認められる不具合箇所については、無償で改善策を施すこと。

9　廃車手続き等

本部が所有する次の車両について廃車及び緊急自動車指定の取り消しに関する諸手続き及び費用負担は、受注者の負担とすること。

（１）車　　種　化学消防ポンプ自動車

（２）登録番号　沼津８８　な　１７０１
（３）型　　式　三菱Ｕ－FK４１７FZW改
（４）そ の 他　廃車に伴う、一次抹消証明書を本部に提出し、詳細は本部の指示に従うものとする。

１０　納入場所
完成車両の納入場所は、裾野市石脇５１５番地　裾野市消防本部とする。

１１　納入期限
完成車両の納入期限は、平成２８年3月9日とする。

１２　発注台数
化学消防ポンプ自動車Ⅱ型　１台

１３　技術指導
（１）受注者は、納入日以降の本部が指定する日時に、資機材及び車両取扱い技術者を派遣し、車両の構造、取扱要領及びその他必要な技術指導を２回以上実施するものとする。
（２）技術指導にかかる費用は、受注者が負担すること。

１４　その他
（１）施行は、本仕様書によるものとし、明記されていない部分は、納入業者が公表した仕様によること。
（２）納入時の燃料及び泡原液は、車両及び付属機器共にタンク容量を満たしていること。
（３）本仕様書に定められていない事項でも、受注者が公表している仕様工作上で当然必要なことは、これを実施すること。
（４）車両納入後においても定期的な巡回サービスを行うこと。

第２　仕　様

１　シャシの条件

車両のシャシは、特に指示するものを除き、次に掲げる事項を満足すること。

（１）シャシメーカーが平成２７年度に公表した消防車専用シャシとしての認定が取られていること。

（２）極力軽量化を図り、ポンプ及び機関等の過重により局部的な変形を生じないこと。

（３）フレーム、スプリング及び車軸等の機械部分は、火災その他の災害現場での全負荷運転に耐える能力があること。

（４）車両は排出ガス中に火花が出ないように、エンジン及び排気系が設計されていること。

２　シャシの型状

シャシの型状等は、次に掲げる要件を満足すること。

（１）車体の型状	キャブオーバー型
（２）エンジン	ディーゼルエンジン出力１６２KW 以上
（３）変速装置	６速マニュアルトランスミッション
（４）操舵装置	右ハンドル、パワーステアリング方式
（５）制動装置	アンチロックブレーキシステム方式（排気ブレーキ付）
（６）キャブチルト装置	電動油圧装置
（７）オルタネータ	２４V－９０A 以上（仕様内容をまかなえる出力以上）
（８）バッテリー	１２V－ＰＲＮ－１４５－F５１以上を２個
（９）ヘッドライト	ディスチャージヘッドランプ
（10）坂道発進補助装置	坂道で停止した際、ブレーキペダルから足を離してもブレーキ力を保持し、走行開始またはパーキングブレーキを使用した際に解除される装置装備
（11）エンジン冷却装置	消防ポンプの吐出水により、エンジン冷却を間接的に冷却する装置
（12）隊員の座席	ダブルシート
（13）ホイールベース	３．５m以上～４．０m未満
（14）定　員	前席２名、後席４名　計６名
（15）積載水量	１３００リットル以上、最大量まで（本部と協議）

（16）積載泡薬液　　５００リットル
（17）泥よけ　　全輪にメーカー純正
（18）標準取付品　　シャシ標準で公表した取付品

３　シャシの型式
車両のシャシは、平成２７年に製造されたものであること。

４　装備品
本車両には、別表に掲げる装備品及びその他、仕様書内に掲げる装置等を装備すること。

第３　艤　装

１　艤装の条件
艤装は、この仕様に適合して作成されるとともに、次の条件を満たし、消防車両として適切な構造及び性能を有するものであること。
（１）堅牢にして、火災現場等での使用に十分耐え得るものであり、かつ維持管理が経済的に行なえるものであること。
（２）使用取扱上の安全性、操作性を十分考慮したものであること。
（３）清掃、点検、調整及び修理が容易に行えるものであること。
（４）扉は、容易に開閉出来るものであること。

２　車両の主要寸法
（１）全　　長　　概ね７２０ｃｍ未満（本部と協議）
（２）全　　高　　３１０ｃｍ以下
（３）全　　幅　　２３０ｃｍ以下

３　使用材料及び部品の規格
（１）材質及び部品は、支給品を除きすべて新規製作又は新品を使用し、特に指示するものを除き日本工業規格のものを使

用すること。またネジ類は、ISOネジ又はこれに準ずるものを使用すること。
（２）艤装に使用する材料は、総務省が定める「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」の災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型及び各規格省令に準拠すること。
（３）コーキング及びシール材は、経年劣化により硬化しない弾力性のあるものを使用すること。
（４）潤滑油を使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、規定量を入れておくこと。
（５）電池及び電池パックを使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、必要数入れておくこと。
（６）プラスチック類は、すべて難燃性の製品を使用すること。
（７）ゴム製品は、すべて耐油性の合成ゴムを使用すること。
（８）木材は、十分乾燥したものを使用し、製作後に変形、歪みなどが生じないこと。
（９）艤装材料のうち、フロアステップ、その他必要とする部分は、縞鋼板とすること。なお、サイドステップ、リアステップの端部周辺は、折り曲げ構造とすること。
（10）必要な箇所には、アルミ製保護板を張ること。

４　製作上の注意事項
（１）艤装は、車体を一体化して製作し、車両の振動等に十分耐え得るよう強固に取付けること。また、傷等の付きやすい部分は努めてアルミ縞板等を使用することとし、展開式扉等にはステンレス製のエッジカバーを設け塗装の剥離を防止すること。
（２）車両は、総体的な重量軽減を図るとともに、低重心化に十分配慮すること。
（３）狭隘道路等を考慮し旋回性を向上させるため、車幅及びリアのオーバーハングは可能な限り短くすること。
（４）全体にわたり防錆、防水性及び耐久性について十分考慮すること。
（５）資器材庫等の照明は、有効に照射するよう設置し、保護枠を設けること。
（６）各取付品及び付属品等の積載において、緩衝を必要とするものは緩衝ゴム等で保護すること。
（７）構造及び艤装並びに資機材等の配置については、本仕様書の記載事項を原則とするが、仕様を満足するため変更する必要がある場合は、本部と協議のうえ変更を可能とする。

第４　車体の艤装

（１）車体の構造

ア　アルミ縞板（ステンレス板を含む）を取付けるボルト、ナット、ワッシャ類はステンレス製とすること。

イ　アルミ縞板、ステンレス板を直接骨材又は外板等に取付ける場合は、外周からの水の浸入を防ぐため、コーキング加工を施すこと。

ウ　各ボックスには、水抜き用の孔を設け、腐食防止対策を施すこと。

エ　各ボックスには、キャッチャー及びオートラッチ又はフランス落しを取付け、ロック状態を容易に確認できるよう反射テープを設け表示すること。

オ　各ボックスごとにスモールランプと連動したドアスイッチを取付け、資器材を有効に照射できる照明を、保護枠を設け設置すること。

カ　車両には別表の取付け品及び付属品を備えるとともに、全て新製品とし、それらは安全確実に積載でき、かつ容易に取出しができること。

キ　シャッターは、片面３枚で防水性の優れた手動スライド式の国産バーハンドル式アルミ製シャッターとし、開閉は任意の位置で停止できる構造で、いかなる走行状態であっても開かないロック式であること。（本部と協議）

ク　使用する保護枠及び各ボックス等の扉に使用する蝶番は全てステンレス製とし、取付け用ボルト及びナット類も同様とすること。

ケ　ステップ等の足掛け部、蹴込み部で塗装の剥がれやすい部分には、ステンレス板又はアルミピラミッド板を貼り付けること。

コ　側板、各ステップ等の外縁部は、折り曲げ加工を施し、切断部には丸みを付けて点検整備の際危険の無いようにすること。

サ　ステップ床板等で水の滞留する恐れのある個所には、適切な大きさで水抜き孔を設け、腐食防止対策を施すこと。

シ　乗降時及び走行時において、安全のため必要な握り棒、手摺り及び安全帯を設け、手摺り（シャシ標準装備を除く）はステンレス製とすること。

ス　各ステップに、滑り止め処理を行うこと。

セ　各ボックス及び棚は、資器材を容易に取り出し及び搬送でき、積載資器材等の転倒、飛び出し、落下防止等を対策した構造とすること。

ソ　各ボックスの底には、「すのこ」を敷くこと。
タ　車外に取付けるスイッチは、防水対策を施すこと。
チ　後部ステップは、後輪接地面と後部ステップ先端とを結ぶ直線上より下方に突起物がないように設けること。
ツ　排気管出口は、右後方ステップ付近まで延長するとともに、熱及び振動等の対策を行うこと。（本部と協議）
テ　燃料タンクは、１００リットル以上とし、給油口は緊急時、燃料携行缶から容易に給油できる位置に設け、付近に容量、油種を明示した耐油性の表示をすること。（本部と協議）

（２）車体部前面
ア　フロントグリル中央に、消防章を取付けること。
イ　フロントガラスの下部中央及び上方の左右に、手摺りを取付けること。
ウ　フロントバンパー上部全面に、アルミ製縞板張りのステップを取付けること。
エ　フロントバンパー両サイドに、LED 赤色点滅灯を取付けること。
オ　フロント面に、フォグランプを一対取付けること。
カ　フロント面の左右に、LED 赤色点滅灯各１個を保護枠を設け取付けること
キ　フロント面のグリル内に、ACC と連動する青色の LED デイタイムライトを２個取付けること。
ク　モーターサイレンを、フロントバンパーの内側に保護枠を設け設置すること。
ケ　左サイドミラーは電動格納式で、運転者が操作しやすい位置に作動スイッチを取付けること。
コ　運転席及び助手席補助ミラーを取付けること。
サ　キャブ全ステップに、キャブドア解放と連動した足元灯を取付けること。
シ　キャブ全ドアに、サイドバイザーを取付けること。
ス　キャブ左右に、乗降用の手摺りを取付けること。
セ　隊員乗降用のステップは、安全に昇降できるようアルミ製テップを強固に取付けること。
ソ　車体の前部に、外れ防止機能付き牽引用フック（２t 用）を２箇所設置すること。

（３）車体部側面
ア【左右側面】

① キャブとポンプ室の間に、折りたたみ式ステップを設置し、手摺りを取付けること。（本部と協議）
② 車体部両側面上部を立ち上げ、作業灯を両側２個ずつ及び赤色点滅灯を両側３個ずつ埋め込み設置すること。
③ キャブとポンプ室の間に、作業灯及び車両上部サーチライト用の防水スイッチを、保護枠を設け設置すること。
④ 車両の左右側面には、前方から「ポンプ制御室」、リアフェンダー上に「ホース収納ボックス」、その後方に「資器材収納ボックス」を設置し、またポンプ制御室下部には「速消ボックス」（三方ローラー）、資器材収納ボックス下部には「資器材庫」を設置すること。
⑤ ポンプ制御室、ホース収納ボックス、資器材収納ボックスは、いずれも防水性の優れた手動スライド式の国産バーハンドル式アルミ製シャッターとし、開閉は任意の位置で停止でき、走行時の振動等により開放しない構造であり、またシャッターを容易に降ろすことが出来るベルトを内側に取付けること。
⑥ 左右ポンプ制御室に、ポンプ操作装置（電磁クラッチスイッチ、スロットルハンドル等）を取付け、ポンプ室両側板に、電磁流量計、ポンプ圧力計、ポンプ連成計（リターード型）を各１個ずつ取付けること。
⑦ 吸口、吸管、中継口、タンクレバー及び放水口は、ポンプ制御室内に設置し、シャッター内に収めること。
⑧ 各ボールコック（吸水コックも含む）には、ドレンコックを設け、排水パイプを側板内側に配管し、排水が各部にかからないようにすること。
⑨ 中継口及び放口は、吸管の脱着に干渉しないように取り付けること。
⑩ ポンプ制御室内に、車外送受信器収納ボックスを埋め込み（無蓋）設けるとともに、ボックス上部をメッシュ加工し、両側板内にスピーカーを取付けること。
⑪ 消防無線の取付位置から車外送受信器収納ボックス内まで、無線機及び車両動態管理装置（以下、AVM という）の配線を施すとともに、支給品の AVM を取付けること。
⑫ 積載水水量計は、左右共にタンク室前方側に取付け、夜間でも容易に確認できると共に、１００リットルごとに水量表示をすること。また本部が指定する位置に、数字（白）で表示すること。
⑬ 速消ボックス内には、本部が指定する位置に間仕切りを設けること。
⑭ 速消ボックス及び資器材庫の扉は防水性に優れた下開きで、開放時にステップとして使用できるチェーンレス構造で、扉ステップ上面はアルミ縞板とし、縁に赤色 LED 灯を設け開放時に点滅させるとともに、他の部分に黄色の反射テープを張付けること。
⑮ ホース収納ボックスは、上下３分割(調整可能な構造)で、扉開放時の資器材落下防止措置を構じること。

⑯ ホース収納ボックスは、固定ベルトを取付けること。
⑰ ホース収納ボックス各段の側面に、資器材を固定する固定ベルトを取付けること。（本部と協議）
⑱ 前輪フェンダー（左右共）上部に、保護板（アルミ板）を取付けること。
⑲ 左右後輪フェンダーは回転式ステップとし、ステップ上面はアルミ縞板で資器材の積み下ろし作業が容易に行うことができる強固な構造で、開放時に扉の縁に赤色 LED 灯を設け開放時に点滅させとともに、他の部分に黄色の反射テープを張付けること。

イ【右側面】
① キャブとポンプ室の間の右側下部に、資器材ボックスを１個設けること。
② 資器材ボックスの上に、車輪止め２個を容易に取り出せる構造で、活動の障害にならないよう保護枠及び固定ベルトを設け設置すること。
③ 右側ポンプ制御室内に、積算流量計を取付けること。
④ 右側ポンプ制御室内に、吸管スパナを２個取付けること。
⑤ 右側ポンプ制御室内に、消火薬剤を薬液層を通さず、外部より吸引できる外部薬液吸入口を設けること。（本部と協議）
⑥ 右側資器材収納ボックスに、調整式の棚を２段設け、本部が指定する資器材を積載すること。
⑦ 右側資器材庫に、ワンタッチ式引き出し式収納で、木製資器材収納箱に間仕切りを設け、エンジンカッター、燃料、替刃、工具を、固定ベルトを取付け積載すること。

ウ【左側面】
① キャブとポンプ室の間の左側下部に、ボックス（横開け扉）を設け、車両用バッテリーを収納し、点検等が容易にできるよう引き出し式とすること。
② 車両用バッテリー収納ボックスの上に、車輪止め２個を容易に取り出せる構造で、活動の障害にならないよう保護枠及び固定ベルトを設け設置すること。
③ 左側ポンプ制御室内に、ポンプ軸受け及びグランド部への給油脂装置を設け、注油方向を明示するネームプレートを取付けること。

④ 左側ポンプ制御室内に、積載水を利用できる蛇口を設置すること。
⑤ 左側ポンプ制御室内に、吸管スパナを２個取付けること。
⑥ 左側資器材収納ボックス上段は、ステンレス製パンチングプレート張りの展開式ラックを設け、本部の指定する資器材を積載すること。(本部と協議)
⑦ 左側資器材庫に、陽圧送風機を固定ベルトを取付け積載すること。(本部と協議)

（４）車体部後部

ア 加納式ホースカー（折りたたみ式）を積載し、昇降装置を設けること。
イ ホースカー昇降装置に、自動で止まる安全装置を設けること。
ウ ホースカー用の昇降装置用スイッチに、保護枠を設け設置すること。
エ ホースカー収納部分に、LED 照明を設置すること。
オ ホースカー上部の資器材庫に、耐熱服（２着）を積載すること。
カ 後部側板上方に LED 赤色点滅灯を、保護枠を設け左右各１個取付けること。
キ 後部側板上方に LED 作業灯を、保護枠を設け左右各１個取付けること。
ク 後部上方中央に、バックアイカメラを設置すること。
ケ 右側板に、昇降用埋め込み型折りたたみステップ又は梯子を取付けるとともに、必要な個所に手摺りを取付けること。
コ 車体後部の上部に、昇降用の手摺を取付けること。
サ 後部作業灯用及びホースカー収納部分の LED 照明灯スイッチを、保護枠を設け設置すること。
シ バックランプを２個取付けること。
ス 後退警報器を設置すること。
セ 牽引用フック（２t）を１箇所設置すること。

（５）車体部上部

ア 車体部上部は、アルミ縞板とすること。
イ 車体部上部のキャブとの隙間にアルミ縞板を設け、車体上部の活動スペースを確保すること。
ウ 昇降時の必要な個所に、手摺りを取付けること。

エ　前方に泡ターレットを強固に設置すること。
オ　ポンプ室上部に、跳ね上げ式の扉（蝶番付）を設け、容易にポンプ室内の整備ができるようにすること。
カ　資器材を収納できる大型の蓋付アルミボックス（ダンパー付）を 1 個設け、ボックス内側に「すのこ」を敷くこと。
キ　左側に、三連梯子(KHFL-CT-87 キャスター付き)及び鳶口 2 本を取付け可能な手動式昇降装置を設置すること。昇降装置は、ステップ等に上がることなく一人で容易に操作できる構造とすること。
ク　かぎ付き梯子（KHFL-31）を、固定装置を取付け積載すること。
ケ　車両周囲を有効に照射できるように、高さ調整式 LED 作業灯を２ヵ所設置すること。（本部と協議）

（6）キャブルーフ
ア　キャビン上部に、アルミ縞板で台座（手摺り付）を設け、散光式警光灯（LED）を設置すること。
イ　雨水等が侵入しないよう、防水及び排水処理の徹底を図ること。
ウ　デジタル消防無線用アンテナ基部を取り付け、同軸ケーブルをキャビン内まで余裕を持たせて配線すること。
エ　キャブ上部デッキ部分に、指定する対空表示を記すること。

（7）キャブ内部
ア　運転席及び隊長席は１人掛けシートで、シートベルトを装備し２名乗車とすること。
イ　後部席は、１列２区分４名乗車とすること。
ウ　シートは全面に、超防汚シートカバー（黒）を取付けること。
エ　ポンプ駆動装置は、運転及び乗降の支障のない位置に設置し、使用時の表示ランプを設けること。
オ　車体後部のバックアイカメラと連動する、室内ミラー型のカラーモニターを設けること。
カ　本部が指定する位置に、GPS アンテナ（AVM 用）を取付け、ケーブルを AVM 取付け位置まで余裕を持たせて配線し、支給するデジタル無線機に接続すること。
キ　前席中央部に、運転操作上不都合にならないよう資器材収納を兼ねたセンターコンソールボックスを設け、モーターサイレンスイッチ、電子サイレンアンプ、消防無線装置等を操作しやすいように取付けるとともに、必要に応じ銘板を取付け表示を施すこと。また資器材収納は、後部席からも容易に積載品を出し入れできるようにすること。（本部と協議）
ク　センターコンソールボックスに照明を取付け、夜間の走行時に運転の障害とならないように、有効な遮蔽を施すこと。

ケ　無線機の車外切替えスイッチを、銘板を取付け設置すること。
コ　ダッシュボードとセンターコンソールボックスの間に、AED 及び携帯酸素１式を固定装置を取付け、積載すること。
サ　天井に、天井埋込型 LED 室内灯を前及び後部席中央に各１箇所、（スイッチ付）を取付けること。
シ　天井中央部に、後部隊員用の収納棚を取付けること。
ス　隊長席の適所に、フレキシブルマップランプ(スイッチ付)を１個取付けること。
セ　隊長席天井付近に、携帯拡声器１台を取付け装置を設け積載すること。
ソ　本部が所有する化学消防ポンプ自動車から ETC ユニットを移設すること。（本部と協議）
タ　後部席前方にφ３０ｍｍ以上のステンレス製手摺り棒（S 字環フック４個付）を設けること。
チ　後部座席下に資器材庫を設け、シートを外さなくても出し入れできる構造とすること。
ツ　キャブ後部パネル部に、カワサキ製ライフゼム NM３０－ATC 型４基を強固に取付ける装置（クイックフォルダーまたは同等品）で設置するとともに、面体フックを設けること。
テ　シート背もたれは、空気呼吸器の着装に支障の無いように上下移動式とし、キャブ後部パネル部と背もたれの間に蓋付資器材庫を設け、空気呼吸器用軽量ボンベを積載すること。
ト　キャブ内に電装品のヒューズボックスを設け、各電装品の名称、アンペア数を記入すること。
ナ　各配線はできる限り露出せず、各部に貫通する部分は防水処理を施すこと。
ニ　ホースカーが収納された状態にない場合、センターコンソールボックスにパイロットランプで表示し、銘板を取付けること。
ヌ　車両左右のシャッター及び下部資器材庫の扉開放時、またホースカー及び三連梯子昇降装置未格納時に駐車ブレーキを解除するとキャブ内で警報ブザーが鳴動する構造とすること。また、センターコンソールボックスに開放場所が確認できるようパイロットランプ設け表示し、銘板を取付けること。（本部と協議）

（８）　ポンプ構造
ア　ポンプの性能は規格 A－２級に合格したものであること。
イ　中継用吸水口は車両両面とし６５mmボールコックを装置し、自動圧力制御機構を内装すること。
ウ　ポンプ自動運転装置（圧力設定が可能なもの）を備えること。
エ　ポンプドレンコックは、ポンプ駆動装置と連動し、排水は他の機構にかからないようにすること。

オ　ポンプグランドパッキン押さえは、振動等で緩まない構造とすること。

（9）　真空ポンプ

ア　真空ポンプの形式は偏心型ロータリーポンプとし、その性能は規格どおりとすること。

イ　真空ポンプの駆動は電磁クラッチ式とし、操作スイッチはポンプ室両側板の操作しやすい位置に取付けること。

ウ　真空ポンプは、オイル循環再利用装置を取付けること。

（１０）　自衛噴霧装置

自衛噴霧装置は、左右各３箇所の有効な位置に設置し、左右別系列とし、左右反対のポンプ制御室で操作できること。

（１１）　冷却装置

消防ポンプの吐出水により、エンジンを間接的に冷却するもので２系統とする。また冷却水は、ストレーナーを設け、切替によりサクション配管に戻すことができる構造であること。

（１２）　揚水方式

揚水は、自動揚水方式（真空ポンプ作動スイッチ「ON」と同時にエンジン回転が揚水に適切な回転となり、揚水完了と同時にエンジン回転が自動的に下がり、電磁クラッチが切れること）とすること。

（１３）　泡消火薬液槽

ア　薬液槽は５００リットル以上（耐食性に優れたステンレス製）とし、振動及び衝撃等により破損、緩み等を生じないように車台に固定して設置し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造で有効なステンレス製の防波板を設け、内部は２区画とすること。

イ　薬液槽上部の適切な位置に、密閉式マンホール及び点検用ハッチを取付けるとともに、空気抜き（自動吸排気弁等）を設けること。

ウ　泡消火薬液注入口、通気管、泡消火薬液の取り出し口及び液量計を設け、底部に排液口を設けること。また排液口には、車体左右から見える位置に「泡原液」と表示すること。

エ　液量計には、ドレンバルブ及び空気抜き装置を取付けるとともに、１００リットルごとに液量残量表示をすること。
　また１００、２００、２５０リットルの位置に、銘板にて表示すること。
オ　各薬液層が５分の１以下になった場合、警報ブザーによる薬液残量警報機能を設けるとともに、左右ポンプ制御室に
　警報停止スイッチを保護枠を設け設置し、銘板を取付け表示を施すこと。
カ　泡自動混合装置の混合比率は、最大混合能力が１，２００ℓ/min 以上であること。また適正混合流量範囲は最大混合能
　力からその５００ℓ/min までの範囲を包含するものであること。
キ　バルブ操作順序、また操作手順等を示したプレートを、操作位置付近の適所に取付けること。
ク　泡消火薬液混合装置は、洗浄が容易にできるものであること。

（１４）　泡消火薬剤混合装置
ア　泡消火薬剤混合装置は、泡消火薬液混合比例装置（自動ポンププロポーショナー方式）とする。
イ　混合比調整は３％・６％とする。
ウ　自動ポンププロポーショナーが故障等により作動しない場合、手動でも使用可能であること。
エ　操作表示盤（配管系統図、番号、性能表、その他）は混合装置操作部側の見やすい位置に設けること。
オ　操作レバー、バルブ等は混合装置操作部側の操作しやすい位置に機能的に配置すること。
カ　泡消火薬剤吸液口を車体右側に設置し、薬液槽外より薬液を吸引できること。（本部と協議）

（１５）　水　槽
ア　水槽の容量は、１，３００リットル以上の角型鋼板製水槽とし、振動及び衝撃等により破損、緩み等を生じないよう
　に車台に固定して設置し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造で、腐食等に耐えうる塗装を施すとともに、有効な
　ステンレス製の防波板を設け、内部は１区画とすること。
イ　水槽上部の適切な位置に、直径４５０mm 以上の密閉式マンホール及び点検用ハッチを設けること。
ウ　水槽からポンプへの給水は、７５mm ボールコックとし、車体の左右で操作できること。
エ　ポンプからの水槽への送水は、６５mm ボールコックとし、車体の左右で操作できること。また水槽
　内の送水管の逆止弁は、ステンレス製とすること。
オ　水槽への補水口を、車両の左右に設けること。また水槽内の送水管の逆止弁は、ステンレス製とすること。

カ　排水口及びオーバーフローパイプ(６５mm)を取付けること。また排水口の車体左右から見える位置に、「積載水」と表示すると。

（１６）　泡ターレット

ア　放水銃はコンパクトで、起上・旋回が可能なレバー式とし、車体上部に設け４００型の泡管鎗を取付けること。

イ　放水銃までの配管口径は６５mm とし、途中に緩衝用のジョイント及びボールコックを設け、車体上部で操作できる構造とすること。

ウ　放水銃は、車両全周の放水を網羅できるように設置すること。

（１７）　電気装置

ア　車載消防無線機、車外送受話器及びＡＶMの配線及び付属品の取付けを行うこと。なお結線取付けは本部指定業者が行うものとする。特に、電気機器類からの雑音防止対策には万全を期すこと。

イ　キャブ内部の前及び後部の適所に無線機用角型スピーカー（小）を設置すること。

ウ　バッテリーメインスイッチを、運転席付近の操作しやすい場所に設けること。

エ　キャブ内に設ける各機器のスイッチ類は、操作しやすい場所に１箇所に集めて取付けること。

オ　各スイッチには銘板を取付け、表示をすること。

カ　照明灯類及び各機器の電気回路はメインスイッチを切った時、無線装置及びＡＶM、集中ドアロック機構を除き、全て閉路となるように配線すること。（本部と協議）

キ　各シャッター内には照明灯（保護枠）を設け、ドアスイッチ式とし、スモールランプと連動すること。

ク　各ステップには足元灯を設け、スイッチはドア連動とすること。

ケ　左右後輪付近の前後に路肩灯（電球 24Ｖ/25W相当の LED 灯）を取付け、スイッチはスモールランプに連動させること。

コ　電気機器には、LED の使用が増えたことから、雑音防止対策の徹底を施すとともに、スイッチ類で必要なものにはリレーを取付けること。

サ　取付けた機器には全てヒューズを通し、ヒューズボックスに明記するとともに、工具を使用せずに容易に点検できる構造にすること。

（１８）　ホースカー

ア　薄型軽量で、６５mmホースを８本程度収納でき、ハンドル及び車輪部分が折りたたみ構造とすること。

イ　車輪は、ノーパンクタイヤを使用し悪路での走破性を考慮すること。

ウ　ホースカーには、分水器及び媒介金具を、固定装置を取付け積載すること。

エ　ホース収納部分に雨水の進入を防ぐ、防水カバーを取付けること。

オ　その他詳細は、本部と協議すること。

（１９）　塗装及び記入文字

ア　塗　装

①　車体各部は、消防自動車（朱色）塗色ウレタン塗料を用い、完全な防錆処理をした後、塗料メーカー指定の塗装工程に従いその効果が十分発揮出来るよう、入念に吹き付け塗装を行い、さらに乾燥炉にて十分乾燥させた後、塗装面を滑らかにし、艶出し加工を施すこと。

②　溶接部分は、塗装前に防錆加工を完全に施すこと。

③　車体の下回り、燃料タンク及びフェンダー内面等は黒色塗装とすること。

④　各ボックス内は、アンダーコーティングの上でオリエンタルグリーン塗装を行うこと。

⑤　各種配管類は、法定塗装とすること。

⑥　アルミ（シャッターは除く）、ステンレス及びメッキ加工品以外の部分には、骨材を含み全て塗装を施し、金属露出部の無いようにすること。

⑦　車両の指定部分及び重要点検個所の表面には、黄色塗装を行うこと。

イ　メッキ

①　次のものには良質のクロムメッキを行うこと。ただし、アルミ及びステンレス材を除くこと。

②　各種操作レバー、バルブ類、ハンドル及び手摺り等。

③　各計器類、消防マーク及び灯火類の保護枠等の取付け品等。

④　媒介金具等の付属品

⑤ その他本部が指定した物

ウ 記入文字

(ア) 車体前部右側に、「６」と記入すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 字　色　　白色
③ 縁取り　　有り
④ 大きさ　　１５０×１５０mm

(イ) キャブ後席両側のドアには、次により「裾野市消防本部」と記入すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　白色
④ 縁取り　　無し
⑤ 大きさ　　１２０×１２０mm

(ウ) 車体側面フロント両側のドア部に、「６」と記入すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 字　色　　白色
③ 縁取り　　無し
④ 大きさ　　１５０×１５０mm

(エ) 車体前面の消防マークから両側面に本部の指定する黄色と白色のラインを入れること。(反射テープ)

(オ) 車体両側のシャッターに、「FIRE･DEPT Ｓｕｓｏｎｏ」と記入すること。

※ 字体及び大きさ等は、本部と協議し決定すること。

(カ) 車体両側の下部資器材庫に「化学車」と記入すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　白色
④ 縁取り　　無し
⑤ 大きさ　　１２０×１２０mm

(キ) 車両後部に、「*CHEMICAL FIRE ENGINE*」「裾野６」と記入すること。

① 書　体　　ＨＧＰゴシック体(斜体)及び丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　白色
④ 大きさ　　本部と協議
⑤ 縁取り　　無し

(ク) 標識灯に、「裾野化学」と記入すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　黒色
④ 台　色　　黄色
⑤ 大きさ　　標識灯の大きさで調整

(ケ) キャブ上部デッキ部分に、「裾野６」と対空表示すること。

① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　黒色

④ 大きさ　　一文字４５０mm

(コ) 車体後部の見やすい所に白枠で囲み「平成２７年度特定防衛施設周辺調整交付金事業」と記入すること。
① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　白色

(サ) 車体後部の見やすい所に白枠で囲み、積載水及び積載薬液の「積載物品名、最大積載容量、最大積載重量」を記入すること。
① 書　体　　丸ゴシック体
② 書き方　　横書き
③ 字　色　　白色

（２０）キャブ内に、車両内寸版を下記（図１）のとおり作成し取付けること。
ア 素材は、アクリル彫刻銘板とし、裏彫刻仕様とする。
イ 傷や摩耗から保護する構造とすること。
ウ 大きさは縦８㎝×横１２㎝程度で、検査受検後に作成し、消防本部確認後取付けること。

（図１）

車両名称	裾野市消防署　化学車
登録番号	富士山○○　○○-○○
全　長	○○.○m
全　幅	○○.○m
全　高	○○.○m
定　員	○　名
給油位置	○○
配　備	○○年.○月○○日

（21） その他

ア　保証期間以後といえども設計不良、工作不良等により不都合が生じた場合は、無償にて部品の取替え、交換または修理を行うこと。

イ　電気機器類からの、雑音防止対策には万全を期すこと。

ウ　承認図にＡＶＭ装置（支給品）、消防無線機（支給品）、電子サイレンアンプ、送受話器、マイク、各スイッチ設置予定位置を図示すること。

エ　スタッドレスタイヤを着装し納車すること。

別表第１　シャシ仕様

№	品　　名	数　量	摘　　要
1	消防専用シャシ	１台	寒冷地仕様
2	エアコンディショナー	１式	メーカー純正
3	電動格納式ミラー	１式	助手席側
4	パワーウインドウ	１式	メーカー純正（全席）
5	電動キャブチルト	１式	メーカー純正
6	ＡＭ／ＦＭラジオ	１台	メーカー純正
7	サイドバイザー	４個	メーカー純正（全ドア）アクリル製
8	集中ドアロック	１式	メーカー純正（全席）
9	坂道発進補助装置	１式	メーカー純正
10	オーバーヘッドコンソール	１式	メーカー純正（前席）
11	サンバイザー	１式	メーカー純正（前席）

12	エンジン回転計	1	メーカー純正
13	エンジンアワーメーター	1	メーカー純正
14	エンジン油温計	1	メーカー純正
15	バッテリー	1式	引き出し装置
16	右左折、後退警報機	1	音声解除スイッチ付
17	泥除け	1式	メーカー純正（全輪）
18	フロアマット	1式	メーカー純正（全席）
19	運転席及び助手席補助ミラー	各1	メーカー純正
20	フロントバンパースポイラー	1	メーカー純正
21	車両標準工具	1式	メーカー純正（各ドライバー大・小、モンキーレンチ、プライヤー、スパナセット等、ケース付）及びタイヤ交換が可能な工具（本部と協議）
22	オイルパンヒーター	1式	15m コード付
23	ETC 移設	1個	

別表第２　標準艤装及び付属品

№	品　　名	数量	摘　　要
1	ポンプ圧力計	2	左右各１個
2	ポンプ連成計	2	左右各１
3	電磁流量計	2	左右各１
4	積算流量計	1	右側
5	散光式赤色警光灯	１式	ウィレン製　FV10SHC（標識灯・スピーカー一体型）同等品
6	電子サイレン	１式	パトライト製　SAP－500FCVZ、マイク付　同等品
7	吸管	2	サクラ 75㎜×10m　SDH75E
8	吸管ストレーナー	2	左右各１　ストカゴ（16SKGF3P）フック付ロープ
9	吸管消火栓媒介金具	2	呼称 75㎜ ネジメス×65㎜ 差込メス
10	吸管まくら木	2	ゴム製(ワンタッチ式)
11	消火栓開閉金具	1	スピンドル×１（丸型対応）
12	消火栓鍵	2	T 型

13	吸管スパナ	4	
14	放口媒介金具	4	スイベル型（65㎜×２，マルチジョイントタイプ×２）
15	放水銃	１式	400 型
16	とび口	2	180cm 程度
17	金てこ	1	120㎜ 程度
18	剣先スコップ	1	スチール製柄
19	角型スコップ	1	スチール製柄
20	車輪止	4	ゴム製大(黄色)
21	消火器	2	ＡＢＣ粉末 20 型
22	ポンプ工具	１式	
23	65㎜ ホース	30 本	呼称 65㎜×20m キンパイ 1.6Mpa 同等品（ネーム入り）
24	50㎜ ホース	６本	呼称 50㎜×20m キンパイ 1.6Mpa 同等品（ネーム入り）
25	発泡筒先	1	YONE FNL-65.400

別表第３　取付品

キャビン内

№	品　　名	数量	摘　　要
1	後部席用背当部	1	上下落とし込み式
2	バックモニター	1	ルームミラー型（カラー)、メーカー純正　同等品
3	ドライブレコーダー	1式	メーカー純正　同等品
4	センターコンソールボックス	1	無線機・AVM 装置、サイレンアンプ埋込み等 無線機メインスイッチ、資器材収納機能付き
5	センターコンソールボックス 計器照明灯	1	運転席光拡散防止装置付
6	無線機取り付け	1	支給品
7	ＡVM取り付け	1	支給品
8	室内灯	2	LED 照明(スイッチ付)
9	ルーフセンターコンソール	1	
10	後部席　空気呼吸器ホルダー	4	クイックフォルダーまたは同等品
11	ヘルメット掛けフック	4	後部席　空気呼吸器ホルダー付近

12	空気呼吸器	４式	カワサキ製 NM30－ATC 型(5L 軽量ボンベ付)、ネーム入り
13	予備空気ボンベ収納庫	１式	空気呼吸器下部収納庫
14	地図及び書類入れボックス	1	住宅用地図及び A3 書類が入る大きさ
15	AED 及び携帯酸素収納	1	固定装置付
16	携帯ライト	2	パナソニック　BF－SS10　同等品
17	S 字フック	4	ステンレス製
18	携帯拡声器	1	レイニーメガホン・タフ TS-623R 同等品、固定装置付
19	マップランプ	1	フレキシブルタイプスイッチ付
20	消防無線機用スピーカー	2	小型(前席及び後席)

キャブ前部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	バンパー上部アルミ縞板加工	１式	全面貼り
2	LED 赤色点滅灯（前部）	左右各１	ウィレン製 M6FCR（24）（保護枠付）同等品
3	消防章	1	車両中央（150㎜ 以上)、台座付（ガンメタリック塗装）

4	フォグランプ	左右各１	メーカー純正（イエロー）
5	LED 赤色点滅灯（バンパー左右）	左右各１	ウィレン製 M4FCR（24）同等品
6	デイタイムライト	左右各１	ACC 連動（青色 LED 灯）
7	フロント牽引用フック	２	２t（外れ止め付）

キャブ上部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	アルミ縞板台	1	2 段手摺り付
2	旗立てパイプ	1	左後部座席上部
3	デジタル無線機用 アンテナ基部	2	デジタル消防無線用アンテナ基部を設置し、キャビン内のボックスまで余裕をもって配線すること。

車両下部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	モーターサイレン	1	フロントバンパー内　6SA

車両前部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	側板作業灯スイッチ	左右各１	防水加工スイッチ、ステンレス保護枠付

2	車両上部サーチライトスイッチ	左右各１	防水加工スイッチ、ステンレス保護枠付
3	昇降用ステップ	左右各１	折りたたみ式

車両左右

№	品　　名	数量	摘　　要
1	LED 赤色点滅灯	左右各３	ウィレン製 M6FCR（24）同等品
2	作業灯	左右各２	ウィレン製 M6BUWC（24）同等品
3	吸水口	左右各１	スーパースイングエルボ付
4	中継口	左右各１	自動圧力制御装置内装
5	タンク送水レバー	左右各１	
6	タンク吸水レバー	左右各１	
7	放水口	左右各２	左右共前方はマルチジョイントタイプ
8	自衛噴霧装置	左右各３	
9	自動運転操作パネル	左右各１	

10	自動揚水システムモニター	左右各１	
11	計器照明灯	左右各１	ポンプ操作部計器灯
12	車外無線ボックス	左右各１	無線機・AVM 支給品取り付け・広報用マイク
13	水量計	左右各１	浮票入り（黄色）
14	水量計照明	左右各１	
15	泡原液液量計	右２	浮票入り（黄色）
16	給油脂装置	右１	表示付き
17	路肩灯	左右各２	保護枠付き LED 灯
18	補助方向指示器	左右各１	キャブ後方
19	積水口	左右各１	メクラキャップ付
20	燃料注油口	右１	
21	無線機用スピーカー	左右各１	トランペット型（防滴タイプ）
22	資器材ボックス	右１	横開け扉

23	バッテリーボックス	左１	バッテリー引き出し式、充電用コード取付（本部と協議）
24	ポンプ制御室	左右各１	シャッター左右１枚・鍵付
25	後部ホース収納ボックス	左右各１	シャッター左右各１枚・鍵付、固定装置付、LED 照明付
26	後部資器材収納ボックス	左右各１	シャッター左右各１枚・鍵付、固定装置付、LED 照明付
27	速消ボックス	左右各１	ステップ兼用扉、ノンスリップ・反射テープ・鍵付・LED 照明 縁付け赤色 LED 灯・三方ローラー
28	資器材収納庫	左右各１	ステップ兼用扉、ノンスリップ・反射テープ・鍵付・LED 照明 縁付け赤色 LED 照明、固定装置付
29	資器材庫展開式収納	左１	展開式パンチングプレート、反射テープ、資器材固定装置付
30	後輪フェンダー	左右各１	ステップ兼用扉、ノンスリップ・反射テープ・鍵付、LED 照明、 縁付け赤色 LED 照明
31	ホースキャリーバック	２	FS　JAPAN 50㎜ 65㎜ ホース用(ネーム入り)
32	ホースキャリーバック	２	東消式(ネーム入り)
33	コーン	４	折りたたみ式（照明付）幅 30㎝・高さ 60㎝ 程度
34	二股分岐金具	１	WB-65MC 同等品、メス側 65㎜、雄側はマルチジョイントタイプ

35	ホースブリッジ	1組	スーパーS型
36	防水シート	2	＃3000ブルー(3.6×5.4　2枚)
37	ガス検知器	1式	理研GX-2012、浮子付サンプリングチューブ(8m) キャリングケース付
38	陽圧式送風機	1	MT236
39	スタンドパイプ	1	YONE　PS-65
40	ハンマー	1	
41	かけや	1	
42	斧	1	
43	パイプレンチ	1	スチール製（30cm程度）
44	ボルトクリッパ	1	ZBC-600絶縁タイプ、同等品
45	MX-Gフォームジェット	2	FN-65MXG　同等品　ネーム入り
46	LX-Gフォームジェット	2	FN-65LXG　同等品　ネーム入り
47	エンジンカッター	1	ワンタッチ引き出し式 スチールエンジンカッターK760同等品

48	替刃	1	真空溶着ブレード(FR-3　12inch)
49	燃料	1	ガソリン燃料缶（KS-10Z）同等品、ネーム入り
50	照明器具	1	信号付移動用照明灯（KS-C 同等品）50m（収納袋付）
51	発電機	1	ホンダ EU9i　同等品

車両後部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	耐熱服	２	KA-2000（ソフトケース付）ネーム入り（本体背部、ケース）
2	LED 赤色点滅灯（埋め込み式）	左右側板 各１	ウィレン製 M9FCR24（保護枠付）同等品
3	作業灯（埋め込み式）	左右側板 各１	ウィレン製 M9LZC24（保護枠付）同等品
4	ホースカー室内灯	1	LED 照明灯
5	ホースカー室内灯スイッチ	1	防水加工スイッチ・ステンレス製保護枠付
6	加納式ホースカー	1	軽量型、ネーム入り　同等品
7	昇降装置	1	極東開発工業ＳＴ型　同等品

8	バックアイカメラ	1	メーカー純正　同等品
9	昇降用ステップ	1式	
10	バックランプ	左右各1	メーカー純正
11	後部作業灯スイッチ	1	防水加工スイッチ・ステンレス製保護枠付
12	車両上部サーチライトスイッチ	1	防水加工スイッチ・ステンレス製保護枠付
13	リアフック	1	2t（外れ止め付）メーカー純正　同等品

車両上部

№	品　　名	数量	摘　　要
1	大型蓋付アルミボックス	1	ダンパー式扉開閉ストッパー
2	三連梯子（チタン製）	1	KHFL-CT-87、搬送用キャスターRFC－075付
3	かぎ付梯子	1	KHFL31　同等品
4	梯子昇降装置	1	三連梯子・とび口固定装置付　ダンパー式梯子装置
5	ほうき	1	

6	竹ほうき	1	
7	サーチライト	2	ウィレン製 PCP34P-DP　同等品

特記事項

1	スタッドレスタイヤ	6	純正ホイール付
2	ミックスタイヤ	7	純正ホイール付
3	泡消火薬液	20L×30 缶	スーパーフォーム
4	ラインプロポーショナー	1	YONE TS-4017　同等品
5	夜行チョッキ	5	FS　JAPAN（BS1 ブラック同等品） バックプリントネーム入り（ネーム入り）本部と協議
6	ガンタイプノズル	4	NV-50GM（固定ティース）同等品
7	ホースバンド	2	OH-01
8	ホースバンテージ	4	HB-100　同等品
9	携帯警報機	4	モーションスカウト　T－R
10	LED 誘導灯	2	点滅・点灯の２段以上の切換方式、固定装置付

11	媒介・消火栓媒介	1	マチノ式 65㎜ 雌→マチノ式 50㎜ 雄
12	媒介・消火栓媒介	1	マチノ式 50㎜ 雄→65㎜ 雄
13	媒介・消火栓媒介	1	マチノ式 65㎜　雄×雄
14	媒介・消火栓媒介	1	マチノ式 65㎜　雌×雌
15	チェーン	1 式	メーカー純正（シングル式）同等品、収納袋付
16	自動体外式除細動器	1 式	日本光電 AED2151(バッテリー4 年) キャリングバック　YZ－210V、ネーム入り 使い捨て除細動パット　P－530×3 個 レッスリューキット(Y264)
17	AED 搭載車表示	2	マグネットシート(本部と協議)
18	車両内寸版	1	アクリル製
19	補修塗料	1 式	車両塗装色(300ｇ)、筆（小）２本付